



エンジンから動力をタイヤに伝えるトランスミッションのほか、コーナリング時に左右輪の回転差を吸収しスムーズに曲がれるディファレンシャルも含まれます。要注意はATミッション。修理代が高く、トラブルが出ると本格的な修理／交換が必要です。

動力伝達機構の保証範囲

MTミッション内部ギア	クラッチディスク
ATミッション内部ギア	クラッチマスターシリンダー
CVTミッション内部ギア	クラッチリリース
トルクコンバータ	クラッチリリースベアリング
トランスファ	クラッチワイヤー
ディファレンシャル内部ギア	シフトケーブル
ソレノイドバルブ	ミッションマウント
車速センサー	リレー
インヒビタースイッチ	シフトレバー
コントロールバルブ	オイルクーラー
AT/CVTコントロールユニット	リバーススイッチ
プロペラシャフト	クラッチスイッチ
ユニバーサルジョイント	ニュートラルスイッチ
ドライブシャフトブーツ	ドロップングレジスター
ドライブシャフト	TRC／VSCコントロールユニット
トランスアクスル	各シール、ガスケット、パッキン、Oリング
クラッチオペレーティングシリンダー	電磁クラッチ
クラッチカバー	バルブボディ

※上記、動力伝達機構36項目が保証対象となります。